

平成 26 年度第 3 回東大阪市環境審議会 議事要旨

1. 開催日時 平成 27 年 3 月 3 日（火）午前 10 時 00 分から午前 11 時 00 分まで

2. 開催場所 東大阪市総合庁舎 18 階 研修室

3. 出席者

（委員）

黒田会長、菅原会長職務代理、榊原委員、塚口委員、初谷委員、村上委員、大宮委員、山口委員、林委員、島村委員、松浦委員、川口(泰)委員

（事務局）

環境企画課総括主幹 仲西、環境企画課主査 森本、環境企画課 山本

4. 議題

（1）環境審議会における主な意見とその対応について（報告）

（2）答申文案について

5. 会議経過

（1）環境審議会における主な意見とその対応について（報告）

事務局より、第 3 回環境審議会における主な意見とその対応を報告

質疑・意見

（黒田会長）

環境出前講座の参加者数を成果指標に追加したとのことだが、本文に出前講座に関する記述があまりないがいかがか。

（事務局）

素案の 24 頁の「①学校における環境教育の推進」部分に記載しており、この施策を踏まえて、成果指標として抽出している。

（塚口委員）

「資料 1 審議会における主な意見とその対応」は、本日の会議だけの資料なのか。永久に記録しておくものであれば、文章として理解しづらい部分があるので、訂正をかけて欲しい。例えば、8 番目の意見は、前回、私が発言したものだが、買い替えをダメだと言っているわけではなく、買い替えだけを促進するのではなく、それ以外の指標も盛り込んではどうかという指摘であった。新しい指標を追加していただいた対応はよいと思うが、この内容では、前回会議の発言趣旨が変わってしまっている。

(事務局)

簡略化しすぎている部分があるので、修正させていただきたい。

(松浦委員)

私も資料1の文章の内容が素直に把握できないので、わかりやすく修正をお願いします。太陽光発電については、自給自足のために導入されるのは構わないが、売電目的で導入される場合、その負担は消費者にかかってくるので、そこが問題である。また、太陽光パネルのリサイクル問題も必ず顕在化してくると考えており、環境省も頭を悩ましていると聞いている。京セラなどが、ブラインド式フィルム型の太陽光発電を開発しているが、実用化にはまだ時間がかかる。国がやっているから、市も取り組むというのはいかがでしょうか。導入のために助成金を払っているが、それは市民に払わせている部分であり、どうにかならないかと思う。国とは違う東大阪独自の環境施策を打ち出してもいいのではないか。

(事務局)

国に右に倣えではなく、東大阪市独自の施策を、今後、検討していきたい。

(初谷委員)

そういった回答ではなく、8番の項目について、お二人からご指摘があったので、文章を変更しないといけないのではないかと。

(塚口委員)

議事録では簡潔に発言趣旨をまとめていただいている。簡略化した資料1の内容では、買い替えなど新たな消費はだめだと発言したように読める。買い替えなど新たな消費を喚起するだけでなく、省エネ等も併せて進めないといけないというニュアンスもあったと思うが、それが資料1では感じ取れない。

(事務局)

ご意見をまとめてしまって、誤解を招く表現になっているので、成果指標については、買い替えが進まない指標も追加するといった文言となる。他にも、短い言葉で、追加しようとして、もう少し丁寧に文言を追加させていただく。

(黒田会長)

松浦委員の意見は、成果指標として、「太陽光発電設備の設置規模」を外した方がいいのではないかとということかと思う。そういう意見もあるが、方向としては、東大阪、ラグビー場で太陽光でPR、太陽光発電、ネガティブな点もあるが、良い点もある。

(松浦委員)

助成金からの助成金、

(事務局)

再生可能エネルギーを普及するために、上乘せして、市からも上乘せの補助を出して、普及を図るために、やっている。市は独自で補助している。普及は必須、東大阪の特徴を見ると、太陽光が適している。震災型、自立分散、防災面も含めて、太陽光発電を進めていることになっている。

(初谷委員)

今のお話をお聞きすると、指摘は、既存の指標があるが、太陽光の指標は課題のある指標であり、よりよい指標に置き換えてはどうか。というのが前回の意見であったかと思う。事務局としては、消すことはできないが、理解が深まるような指標を追加した。それが、資料1では上手く表現できていないので、誤解を招いている。このファイルについても、既存の指標については、こういう理由で、積極的な面、マイナス面も配慮しつつ、維持したい。かつ、追加する指標については、指摘のあった、マイナス面の理解が進む、教育面の指標を追加するのだとあって、かみ砕いて書いていただければ、それぞれのご意見が繋がるのではないか。

(事務局)

誤解を招いているので、修正をさせていただきたい。

(松浦委員)

設置に対する補助金は、固定価格買取制度が導入され、国でも打ち切りとなっている。東大阪市で、補助金をプラスしてまで普及させる必要はないのではないか。設置したい人は設置すればよいが、補助金をもらいながら、売電収入まで得るということは、矛盾している。電力会社も、国のやることには不満を持っていると聞いている。それよりも、電気をこれでもかというほど使っていることが課題であり、環境カウンセラーとして環境家計簿の普及を進めているが、実施件数が少ない。当初の計画では、22万世帯に対して、2万世帯が目標であったが、今回は6,500世帯となっている。一生懸命リーダーとして頑張っている人たちは、ボランティアで実施しており、太陽光の設置に補助を出すぐらいであれば、環境家計簿の普及のために、有償ボランティアとして、活動費を補助してもよいのではないか。そうしなければ、目標に達成するわけがない。ミニ講座にしても、個人的な団体等に講座をしているが、行政がもっとPRをすべきである。特に、男性は80%程度の人には節電意識がない。もっと節電を考えて生活をしてほしい。この庁舎にしても、建設する際に、調光システムを入れてほしいとお願いしたが、この会議室などできていない。もう少し、行政がしっかりと考えてほしい。歴代の環境部長がだいたい環境について知っているのか疑問に感じる。環境についてもっと考えてほしい。

(事務局)

日常生活において節電の配慮などは足りないかと思うところであり、気を引き締めていきたい。環境家計簿についても、普及拡大に向けて予算の増額などを要求しているが、なかなか要求通りに予算がつかないのが現状である。22万世帯に対して目標が6,500世帯で少ないという指摘であったが、東大阪市は府内でも突出して実施世帯数が多く、今後も着実に伸ばしていきたいと考えている。

(川口(泰)委員)

太陽光の補助金として年間5000万円を出しているということか。

(事務局)

そのとおりである。

(川口(泰)委員)

前回、リージョン構想に関する意見があり、その後、私も都市計画マスタープランの概要版を読んだが、本計画と関連する内容も多かった。例えば、自転車利用の促進なども、都市マスの10頁に記載されており、転記いただくとわかりやすいかなと思った。もう1点、38頁の成果指標と、別紙2の関係性は何か。

(事務局)

別紙2は、現行の計画に掲載している指標である。今回の改定に伴い、アンケート調査等の数値については、毎年追跡できる指標ではないので変更している。

(初谷委員)

資料1の4番目の項目の表現も、少し書き方を変えた方がよい。リージョン構想自体は、上位計画である総合計画でうたってきたことである。前回私も少し発言させてもらったが、リージョン構想は、市長が言うようにまちづくりの目安だが、全ての分野、政策に適用できるものではない。政策の強弱を考えると、ある分野では、7つの区分を意識しないということも考えられる。都市計画マスタープランや公共施設再編整備計画など、新たな計画では、リージョン構想を軸に考えなくなっている。そういう他部局の計画の状況を踏まえ、本計画でも削除したとあるが、先ほどの松浦委員の指摘にも通じるが、環境部局として、地球温暖化対策を考えたときに、リージョン構想の考え方がこの計画にそぐわないから消すのだといった、環境部局としての見識を示す書き方をしてはどうか。

(事務局)

他の部局の計画がリージョン構想の考え方を持っていないということで消したという記載となっているが、環境部局としての考え方を記載するようにしたい。

(大宮委員)

昨日、ラグビーワールドカップの会場に東大阪市の花園ラグビー場が選ばれたが、釜石と東大阪だけが少し見劣りする会場となっている。今後、改修を行うと言うことであるが、例えばスタンドに屋根をつけて、そこに太陽光発電を設置して、市民にアピールしてはどうか。知名度もアップする。そういった何をするのか、はっきりしたことを書いて欲しい。

(事務局)

重点プロジェクトとして32頁に記載しており、今後の整備に向けては、CO2の削減につながるよう、環境部局として意見を出していきたい。

(松浦委員)

東大阪は広く、自転車で移動するにも高齢者では限界がある。バスや電車は何回か乗り継がないといけないため、結構お金がかかる。高齢者に元気になってもらうために、できるだけ外に出るようにという謳い文句があるが、出たくてもお金がかかるた

め、躊躇されるケースも多い。一方で年金は下がる。近鉄電車、バス、タクシーも含めて、月に何千円かのカードを持っておけば、東大阪市内が移動し放題になるような仕組みが考えられないか。

(大宮委員)

大阪市が 3000 円のフリーパスを発行しているが、同じような仕組みであろう。

(事務局)

計画協議会には近鉄バスさんも委員として入っていただいているので、協力していただきながら考えていきたい。

(山口委員)

われわれバス事業者でも IC カードの導入に取り組んでおり、もうすぐ実現するが、費用が高くつく。乗継の割引制度も可能かと思うが、われわれ事業者と行政も含めて検討していければと思う。

(島村委員)

これまでごみの分別に補助金が出ていたが、無くなってしまった。その後、分別がおろそかになっているような気がする。

(大宮委員)

補助金が出ていたことは、市民は知らないのではないか。

(松浦委員)

東大阪市は分別の種類が少ない方であり、多い自治体では 20 何種類のところもある。補助金がもらえるからではなく、分別することで、市のお金がかからないということを理解し、市を潤すために取り組まないといけない。補助金が出ていた 4 年間は、意識を持ってもらうための施策である。

(島村委員)

私の自治会では実施しているが、分別していない自治会が目立ってきている。もっと PRしないと、まじめにやっている人がばからしい。

(事務局)

市としては、補助金を出すよりも、市民一人ひとりに意識を持っていただきたいと考えており、分別の啓発は今後も力を入れて進めていきたい。

(川口(泰)委員)

花園ラグビー場でワールドカップの開催が決まったが、駅前の路上喫煙などマナーが悪い。先日も朝、ゴミ拾いしたが、たばこのポイ捨てが多かった。ゼロカーボン、二酸化炭素排出抑止も大事だが、駅前で歩きたばこしているまちでは、せっかく世界中から人が訪れても恥ずかしい。都市環境の一環として、美しいまち条例が機能しているが、例えば、茨木のように、空き缶ポイ捨て条例や路上喫煙禁止条例など、美化推進条例とひっくるめるのではなく、個別名を出した条例を策定して欲しい。

(大宮委員)

シンガポールのように罰金を取ってはどうか。

(松浦委員)

ペットの散歩にしても、欧米と日本では考え方が異なり、欧米では家の中で糞尿の躑をするのに対し、日本では外で糞尿をさせるために散歩につれて行く。こんな汚いまちにきて欲しくないので、私はワールドカップ誘致は反対であった。

(川口(泰)委員)

まちづくりの検討の際、環境のテーブルでは、自転車マナー等の意見が必ず出てくる。そういった意見を反映いただきたい。

(初谷委員)

具体的に入れるとしたら、どこに入れればよいか。

(黒田会長)

この計画は温暖化対策実行計画なので、少し趣旨が違うのではないか。

(初谷委員)

可能な範囲で加筆するとすれば、タイミングは今だと思うので、具体的に検討できればと思う。

(塚口委員)

素案であれば、24 頁のところに記載してはいかがか。温暖化対策とは距離はあるが、環境に関するマインドとしては全てに係わることであろう。

(初谷委員)

何か文書を考えられて、たばこ、ペットの問題についての文章を追加されてはどうか。

(事務局)

考えて、反映したい。

(菅原委員)

ラグビー場の件については、今まで、意見があったように、周辺環境、たばこのポイ捨てを無くして、周辺環境をよくしていくよい機会だと思う。また、太陽光発電などエネルギーだけでなく、私は水処理が専門だが、雨水の循環再利用等を記してはどうか。例えば、国技館などは雨水を利用し、水に関しても、環境に貢献するようなシステムをとっている。エネルギーだけでなく、全体として環境に配慮した競技場になっている、そういうイメージを持ってもらえるように、環境面から整備していければよい。

(黒田会長)

重点の中で、もうすこし書き込めないかということだが、事務局いかがか。

(事務局)

ご指摘のとおり、水の利用については書かれていないので、少し考えたい。先ほどご意見のあったごみやポイ捨てなど、温暖化に特化したもの以外は、環境基本計画で様々な取り組みを推進しており、整合を図りながら、記載できるものを整理したい。

(黒田会長)

本日の意見対応はどうするのか。

(事務局)

会議の日程調整のスケジュールが厳しいため、できれば会長一任として欲しい。

(初谷委員)

会長一任でよいが、資料1についてはいろいろ意見が出たので、会長にお目通しいただいた上で、各委員に配布して欲しい。

(事務局)

了解した。

(2) 答申文案について

事務局、答申文案について説明

(黒田会長)

答申案、文言についてはいかがか。

(塚口委員)

行政の決まった文章なのかもしれないが、ですます調とである調が混在しているので、修正されたい。

(事務局)

了解した。

6. 配布資料

審議会における主な意見とその対応

地球温暖化対策実行計画【区域施策編】(素案)

現計画の改訂について

別紙1 平成25年度実施状況および平成26年度実施計画報告書

別紙2 成果指標

別紙3 実施状況報告書

別紙4 第3章修正箇所

PDCA サイクル図

SWOT 分析表

地球温暖化対策実行計画【区域施策編】(概要版)

答申文(案)